

2024年度ドイツ語ドイツ文学コース研究指導

独文 M	修士	ドイツ文学研究指導1	教授	山本 浩司		20世紀・21世紀ドイツ文学 2024年度特別研究期間
独文 M	修士	ドイツ文学研究指導2	教授	Arne Klawitter	Ph.D. ロストック 大	ドイツ近現代文学、文学理論
独文 M	修士	ドイツ文学研究指導3	教授	武田 利勝	博士 (文学) 早大	ドイツ近代文学
独文 M	修士	ドイツ語学研究指導1	教授	室井 禎之		ドイツ語学

文学研究科ドイツ語ドイツ文学コース修士論文／博士論文題目

2019年度

修士論文題目

コーネリア・フンケによる現代の児童像表現について
遊びという概念

「再生」のメランコリー－「蓄音機小説」としての『魔の山』

博士論文題目

「一冊の、ささやかな、本」－ヴァルター・ベンヤミン『1900年ごろのベルリンの幼年時代』研究
ニーチェにおける「生理学」－彼の文化的「戦略」として

2020年度

博士論文題目

救済のイコノロジー－ハンス＝ユルゲン・ジーバーベルク『ヒトラー、ドイツ生まれの映画』における表現のスタイルと観客の役割

2021年度

修士論文題目

『パルジファル』の地平－「Mitleid（共苦）」の思想
文構造の複雑さと第二言語習得

Irgendwann muß man springen －イルゼ・アイヒンガーの作品における
「跳躍した」語り

インゲボルク・バッハマン『猶予された時』－停止する円環運動

ハンザ商人書簡の言語学的研究－フェッキンファーゼン書簡における語形と法

2022年度

修士論文題目

流れ去る父、輪に休らう母、まだ見えない子 －ヘルマン・ブロッホ『魅惑』
における「わたし」とギッソンの共闘について

【問い合わせ】

ホームページ

<https://wasedadokubun.weebly.com>

ドイツ語ドイツ文学コース室

33号館6階601研究室 月～水午後開室

メール: [dokubun_la\(at\)list.waseda.jp](mailto:dokubun_la@list.waseda.jp)